



地震を想定した

避難訓練を実施

令和8年9月1日(火)

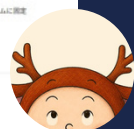
午後1時、巨大地震により火災が発生したとの想定で避難訓練を実施しました。全生徒が真剣な表情で訓練に取り組みました。ここ数年、地震をはじめとする大災害が頻発していることもあり「当事者意識」も高まっているようです。そのあと消火器の使い方教わり実際に使わせていただきました。ご指導いただいた名西消防の方からもお褒めの言葉もいただきました。

「自分の命は自分で守る」ということを深く考える機会になりました。避難所で役に立つ中学生になることもめざしていきたいと考えています。



これだけで終わらない今年の避難訓練

午後1時から実施した避難訓練は地震を想定したものでした。今年は引き続き、午後8時に大きな余震が発生した想定で、一人一台端末のアプリ「やりとげくん」を使って、安否を確認する参集訓練を初めて実施しました。9/1中に安否を確認できたのは71%にとどまりました。昼の完璧な訓練と比べて非常に低い数字から、繰り返し実施することの重要性を改めて感じました。

A screenshot of the 'Yari to Gekun' app interface. It shows a form for reporting safety status. The form includes fields for 'Name', 'Class', and 'Status'. There are buttons for 'Submit' and 'Cancel'. The interface is in Japanese.

神中あぶり「やりとげくん」